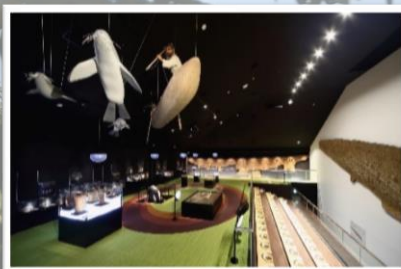




ミュージアム外観



展示室風景

## 縄文体験メニュー

縄文の生活を追体験してみよう！

	所要時間	料金
①土器づくり(要予約)	約3時間	400円
②どんぐりクッキー作り(要予約)	約1時間	250円
③ペンダント作り	約1時間30分	400円
④土偶・ミニ土器作り	約1時間	200円
⑤火おこし体験	30分～60分	100円(1組)
⑥弓矢の使用体験	30分～60分	100円
⑦キーホルダー作り	約30分	100円

※事前予約が必要な体験もございますので、  
詳細はミュージアムにお問い合わせください。

### 《宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム》

- 開館時間 午前9時から午後5時(最終入館は午後4時30分)
- 休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌平日)・年末年始・毎月月末平日
- 入館料 高校生以下無料 一般 200(100)円 学生 150(80)円  
( )内は10名以上の団体割引料金

〒027-0097 岩手県宮古市崎山第1地割16番地1

☎ 0193-65-7526 / FAX 0193-65-7508

宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム

## 崎山貝塚縄文の森公園 散策マップ





崎山コースで全て巡れる!

## 自然を満喫したいならここがオススメ!!

この梨美味しいの?

スポット④

### 「ヤマナシ」

岩手県出身の作家宮沢賢治の童話に登場する「ヤマナシ」は、崎山貝塚でも見る事が出来ます。

5月ごろに満開の花を咲かせ、お盆くらいになると、ピンポン玉より大きい程度の実を付けます。10月近くなると熟してきますが、苦みが強く、食用には向きません…。



満開の花を咲かせるヤマナシ

宮古と言えばこれ!

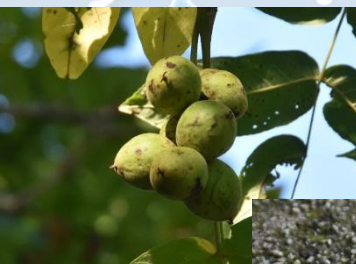
スポット⑥

### 「クルミ」

宮古では、お正月になると「クルミもち」をよく食べます。郷土料理「ひゅうず」にも入ってますね!

そんなクルミですが、食べられるのは、種の中身。クルミの実は、緑色をしていて、秋になると実が落ちて、腐る事でよく見るクルミの殻が出てきます。

ちなみに写真は、ヒメクルミの殻です。



↑緑の時のクルミの実



熟したクルミの実→

秋と言えばこれ!

スポット⑤

### 「クリ」

崎山貝塚縄文の森公園には、秋になると実を付ける「クリの木」が何本か自生しています。6月ごろから、花が咲き始め、初夏ごろから、イガイガが実り始めます。

この時期のイガイガは、小さくて緑色をしており、柔らかくて不思議な触感をしていますが、秋には、茶色で硬くなってしまいます。



クリの木の花

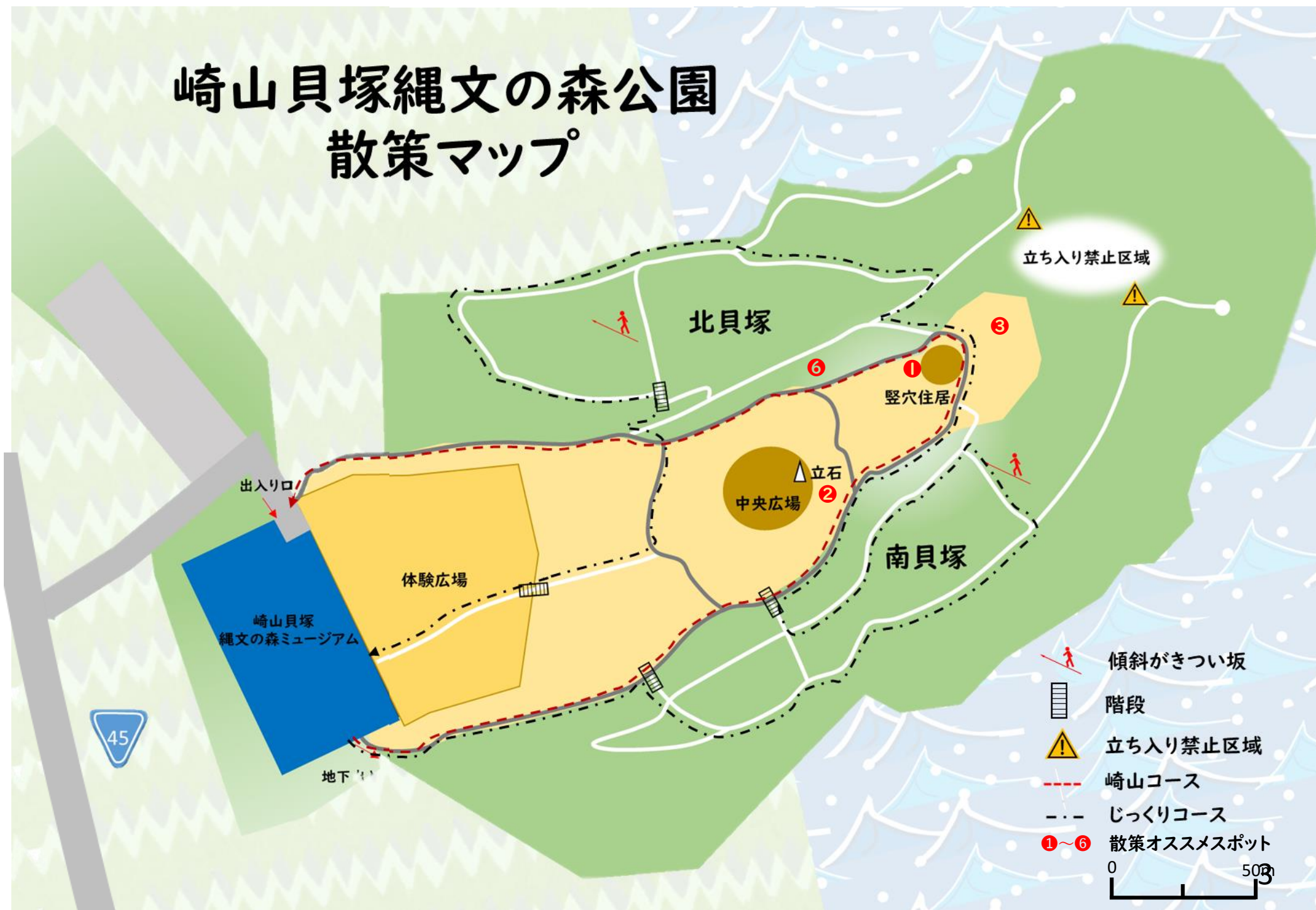
#### ちょこっと考古学講座

公園にある「クリの木」は、縄文時代から人によって管理されていた事が分かっています。青森県の三内丸山遺跡では、人が生活していた時代の土から、クリの花粉が多く見つかり、クリを栽培していたと考えられています。

※公園内の植物の採取はご遠慮下さい。



# 崎山貝塚縄文の森公園 散策マップ





崎山コースで全て巡れる!

## 縄文を体験したいならここがオススメ!!

縄文と言えば!

スポット①

### 「復元竪穴住居」



「炉」で火を焚いている写真

縄文時代の人々が暮らしていた建物を、竪穴住居といいます。地面を掘り、丸い木を柱にして、屋根には植物を使っていたと考えられています。

夏は涼しく、冬は暖かいといった特徴があります。建物の中心には煮炊きをするための「炉」も見つかることがあります。

子供に人気!!

スポット③

### 「弓矢体験」



なんだこの石?

スポット②

### 「立石」

立石の周辺には、縄文人の造った中央広場の痕跡が残っていました。そこには、立石という大きな石が立っており、発掘調査の結果2mほどの大きさが確認されました。

崎山貝塚に住んでいた縄文人がお祈りをした場所ではないかと考えられています。現在も公園内に残っています。



発掘調査時の立石の写真

復元竪穴住居のすぐ裏では、弓矢体験を行うことが出来るスペースがあります。弓矢は縄文人がウサギや野鳥などの小型の動物を捕まえるために使用していたと考えられています。

縄文時代に使われていたとされる、弓は一本の木から弓を作る丸木弓だったと考えています。ここでは、その丸木弓を再現して作られた弓を使って、弓矢体験を行う事が出来ます。

丸木弓を使って縄文の狩りを体験してみよう!!

※体験は有料です。天候により体験できない場合があります。